

中学校における理科（地学）および 社会科（地理）の共通点と相違点

長崎市立西泊中学校 丸山稜・人

中学校の理科（地学分野）および社会科（地理）の教科書における関連用語の使用が
されている位置について

I 理科

海岸段丘……12

教科書名：新編 新しい科学
使用学年：第1学年
著者：茅 誠司 服部静夫編
発行所：東京書籍

(3)土地の沈降を示す地形

リアス式海岸……13

【使用学年：第2学年】

II 火山と火成岩

1. 火山

関連及び用
語欄の番号

(1)火山の活動……………10

IV 流水の作用とたいせき岩

1. 流水のはたらきと地形 浸食作用……3

2. 地形の調べかた

▶ 地形図の見かた 等高線……1

縮尺……2

3. 川の水のはたらき

(2)川水の浸食作用 浸食作用……3

(3)川水のたいせき作用 扇状地……4

三角州……5

(4)平野の川 天井川……6

4. 海水のはたらき

(2)海水の運搬作用とたいせき作用……7

沖積平野……8

湖……8

(3)湖

V 地殻変動と変成岩

1. 地震……………9

2. 土地の隆起と沈降

(1)土地の隆起を示す表形 河岩段丘……11

III 気圧と風

4. 風のふくわけ

(2)温度のちがいによっておこる風……

……季節風……14

IV 天気の変化

1. 気団・前線・低気圧

(3)低気圧の発生、発達、消滅

▶ 熱帯低気圧 台風……15

2. 日本の天気……………16

(2)冬の天気

(3)夏の天気

(4)春と秋の天気

(5)夏の前後の天気 梅雨……17

II 社会

教科書名：中学生の社会科

日本と世界の国々（地理）

使用学年：第1学年

著者：内田寛一 町田 貞 他

発行所：中教出版

第一章 郷土

〔複雑な海岸線と深い海〕

2.郷土の調べかた

リアス式海岸 13

〔地図を読もう〕

特高線 1
縮尺 2

3.変化の多い気候
〔日本の気候の特色〕

第二章 日本の自然

季節風(モンスーン) 14

2.山がちな国土とまわりの海

梅雨(つゆ) 17

〔日本の山地〕

浸食作用 3
火山 10

〔日本の四季〕

冬

〔川と湖沼〕

天井川 6
湖 8

春

夏

〔平野と盆地〕

平野 7
扇状地 4

秋

4.自然の災害と資源の利用

三角州(デルタ) 5

〔台風と風水害〕 台風 15

河岩段丘 11

〔火山の爆発や地震など〕 地震 9

海岸段丘 12

火山 10

中学校の理科(地学分野)および社会科(地理)教科書における関連用語の説明
および表現の差異について

用語番号	用語	理 科	社 会 科
1	高等線	地形図に数多く引かれている曲線は <u>等高線</u> でこれは海面から同じ高さにある点を結んだ線である。	郷土のすがたを、大観するためには、まず <u>等高線</u> による土地の高低の表わしかたや、方位や縮尺、地図記号などについて知っておかなければならない。
2	縮尺	地形図の縮尺は5万分の1であるから1.000mが2cmに表わされている。	
3	浸食作用	流れる水は、地表の岩石や土砂を <u>けずり</u> それを下流に運び……上流の山地ではV字谷をつくる。	山地や丘陵は <u>浸食作用</u> によって細かい谷がささまれ、木の枝のように分かれた複雑な地形になっているところが少なくない。
4	扇状地	川の流れが急におそくなるようなところは、多くの土砂がたいせきして、特別な地形ができる。 <u>扇状地</u> や <u>三角州</u> はこうしてできた地形である。	平野の中には、川が山地から平地にでるところにつくる <u>扇状地</u> や、海や湖に出るところにつくる <u>三角州(デルタ)</u> などがある。

用語番号	用語	理 科	社 会 科
6	天井川	平野を流れる川は、流水がゆるやかなので土砂のたいせきによって、しだいに川底が高くなる。	山ろくでは、川すじの足まらないあれ川 川 になっているものがあり、その中には天井川 川 になっているものも少なくない。
7	沖積平野	日本の海岸平野の多くは、川や海のたいせき作用によって、しだいにうめられて陸地となったものである。	川は上流から多くの土砂・小石を運びこれを下流に堆積して平野をつくる。平野は人々の生活の舞台としてたいせつなところとなっている。
8	湖	火山活動にもなってできた湖や、流水の作用でできた湖があり、また土地が落ちこんだところが湖となることもある。	溪谷や滝湖なども火山に関係して生じたものが多い。日本の川や湖沼はそのままでは水運の便がわるく、交通にはあまり利用されていない……
9	地震	大地は動かないものだと思っているが、大地は動いている。わたしたちにもすぐ気づくような大地の動き、それは地震である。	
10	火山	日本は世界でも有数の火山国であり、さまざまな形の火山や活動のしかたが異なっている。	日本には多くの火山が噴出し、それが列をなしていくつかの火山帯をつくっている。
11	河岸段丘	土地が隆起して川底が高くなったため、川がもとの川原を新しく浸食してできた地形である。	川や海の岸には、階段状になった土地ができていところも多く、それだれ河岸段丘、海岸段丘とよばれ、これらの表面も居住地や耕地に利用さたている。
12	海岸段丘	大規模な土地の隆起によって、海面よりもかなり高いところに上がってしまった海食がいと、海食台のあとで、海岸段丘とよばれる。	
13	リアス式海岸	浸食をうけた土地が海中に沈降したときは、もとの尾根の先はみさきとなり、もとの谷は入り江とな	海岸線はいっぱんに複雑で、なかでも太平洋岸は大きな出入がめだっているリアス式海岸も各地でみ

用語番号	用語	理 科	社 会 科
14	季節風	<p>っていて、複雑にいくんだ海岸線ができる。</p> <p>となりあった地域で温度のちがいがあると、それが原因となって風が吹く。季節風や偏西風などの大規模な風も……</p>	<p>られる。</p> <p>日本の国土は、まわりが海に囲まれているので、気候はいっばんに温和であり、四季の区別がはっきりしている。また、<u>季節風</u>（モンスーン）や<u>梅雨</u>（つゆ）・<u>台風</u>の影響を多く受け……</p>
15	台風	<p>南洋付近に発生した熱帯低気圧が、北上する間にしだいに発達したものが台風である。</p>	<p>台風が日本におそうのは、おもに9月から10月ごろである。日本の風水害の大部分は台風によるもので……</p>
16	日本の天気		
	冬	<p>西高東低型の気圧配置で北西の季節風となる。</p>	<p>北西季節風 多湿、裏日本は雪、表日本は晴</p>
	夏	<p>南東がわに高気圧、北西がわに低気圧という気圧配置になり、南寄りの季節風がふく。夏は湿度が高くむし暑い。</p>	<p>南東季節風、雨の降りつづく梅雨がある。高温多湿。</p>
	春秋	<p>春と秋は大陸に発生した温帯低気圧と移動性高気圧とが交互に日本付近を西から東へ通りすぎる。このため変わりやすい天気になる。</p>	<p>表日本では多雨 台風の時期、天気は変わりやすい。</p>
17	梅雨	<p>6月のなかばから7月にかけて、日本列島の南側にそって停滞前線ができ、これにそってつきつぎと小さい低気圧が発生しては東に進み雨の日がつづく。これが梅雨である。</p>	